平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） 3 ※記入不要	提案機関名	農業振興課

要望問題

水稲有望系統「関東２０９号」の栽培管理技術の確立並びに生育指標の策定

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

水稲有望系統「関東２０９号」の奨励品種化を目指して、研究・普及・行政が一体となって取り組んでいる。現在、生態的特性が概ね把握できているが、栽培管理技術が不十分な状態である。また、奨励品種化された場合の技術普及指導を行うに当たっては、生育指標が不可欠である。一方、当系統は関東管内の数県で有望視はされているが、自県育成系統を優先的に奨励品種化する施策上、奨励品種化への具体的取組は本県のみの状況にあり、他県の試験成績を期待できない現状にある。

こうして状況を踏まえ、早急に次の技術を確立願いたい。

①環境保全型生産技術に考慮した元肥・追肥の量並びに施用時期等の施肥管理技術
②良食味米生産のための生育時期別生育指標（草丈×葉色×茎数等）の策定
③品質向上のための簡易で簡便な収穫適期判定技術

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：	生物資源部
対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

新品種系統適応性検定試験
（１）奨励品種決定基本調査・普及事業(S29～)
ア　奨励品種決定調査事業(S29～)

対応の内容等

水稲奨励品種の選定については上記研究課題により、実施中です。

本年度は、有望視している関東209号については施肥反応試験も併せて実施しており、生育指標（草丈、葉色、茎数、幼穂長）および収穫適期判断のためのデーターを収集しています。指標策定にあたっては、多くの事例のデーターから作成するのが望ましいので、現地におけるデーターあるいは情報の提供につきましては、御協力をお願いいたします。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	